

【今年もよろしくお願ひ致します】

令和3年が始まりました。昨年はコロナ禍での、学校教育で様々な制限を強いられました。私ども、教職員は、学校行事等の縮小や中止についていろいろと考えながら行ってきました。

このように柔軟な対応ができたことは、保護者の皆様のご理解とご協力があつてのことです。昨年に引き続き、今年もよろしくお願ひいたします。学校としても、「コロナ禍」における安全な学校教育を心がけ、不備の無いように職員一同、気を引き締めて来年度に大きく繋がる三学期にしたいと思ひます。さて、今年(昨年中止)はオリンピック YEAR でもあり、記憶に残る年になると思ひます。せめて今年は明るいニュースで日本中が盛り上がりたひものです。



【慈恩の呼吸で全集中】

「一年の計は元旦にあり」といひます。私は、昨年を顧みて、本年の「新年の抱負」を「慈恩の呼吸」で「全集中」としました。慈恩とは、いつくしみある恩や、厚い情けという意味です。

なかなか収束しない「コロナ禍」での生活を強いられ、関東方面では、再び緊急事態宣言が出されました。「三密」「人との距離」「マスクでの会話」等、細心の注意を払つていても、感染してしまうのが「新型コロナウイルス」です。感染者を差別的な目で見たり、必要以上に詮索したりしがちです。

私自身も、大声で話す人にイライラしたり、マスクをしていない、または咳が出た人をじつと見たりしてしまひます。もう少し大きな気持ちで「新型コロナウイルス」に立ち向かわないといけなひと思ひました。そこで、日常生活でイラツとしたり、むかついたりした時は、大きく深呼吸(慈恩の呼吸)です。そして、目の前のことに集中(全集中)しようと思ひます。校長として様々な場面での判断が「的確」且つ「ぶれない」ような「丑年」にしたいと考えています。お子さまにも、今年の抱負を聞いてみてください。

【いよいよ進路決定】

3年生にとっては、いよいよ進路決定の時期です。人は、それまでの生き方が、これからの人生に繋がっていきます。高校入試は、社会の厳しさに出会う最初の関門です。社会にはもっと厳しい様々な関門があり、そこをクリアしなければ前進、発展は望めなひと思ひます。つまずきそうになったら、自分が進もうとした道を決めた時の「初心」を顧みて自分を見つめ直して下さい。自分を厳しく鍛え続ける心や意志を子どもたちに身に付けさせたいものです。そのためには、保護者の方々のご理解とご協力が必要です。



子どもが進路について悩んだり迷つたりした時には、遠慮なく相談してください。